

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 鶴ヶ島市における特別支援教育について （40分）</p> <p>2021年8月24日、東京2020パラリンピック競技大会が開催され、12日間にわたる各種目の熱戦は、人々に感動を与えました。鶴ヶ島市からも山崎晃裕選手が、陸上種目やり投げの代表として出場し、市内の児童・生徒たちは、先輩の活躍から夢や希望を与えてもらいました。</p> <p>パラリンピック競技大会は、障害がある選手たちの姿を目の当たりにすることで、多様な価値を認め合い共生社会の実現につなげようという理念があります。</p> <p>この理念のように、これからの社会は、障害の有無に限らず、誰もが相互に人格と個性を尊重し合い、多様な在り方を認め合える全員参加型の共生社会でなければならず、誰もが、それぞれの場所で輝くことのできる社会であるべきと考えます。</p> <p>そのためには、障害に対する正しい理解や特性に応じた適切な支援が早い段階から行われる必要があります。現在、小・中学校で行われている特別支援教育の充実が重要です。児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善、又は克服するための適切な指導及び必要な支援が行われなければなりません。</p> <p>以上のことから、ノーマライゼーションの理念に基づく、共生社会の実現に向けた、本市の教育について、以下の質問をいたします。</p> <p>(1) 本市における特別支援教育の現状について</p> <p>(2) 適正な就学を進めるための支援について</p> <p>(3) 特別な支援を必要とする児童・生徒への理解を深める教育について</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>